

- ✓ 英語講演
- ✓ 日本語要約
- ✓ 英語・日本語
質疑応答

アレクスター・クロウリー研究会

7月20日(木)午後3時～5時

東京大学(本郷キャンパス)

法文1号館1階 113教室



- 15.00-15.05: 趣旨説明
- **15:05-15:45: 講演① Occult Enlightenment: Aleister Crowley and the Knowledge and Conversation of the Holy Guardian Angel (Henrik Bogdan, University of Gothenburg)**

*「オカルトの啓蒙:アレクスター・クロウリーと聖守護天使の知識と会話」西洋エソテリシズムの中心的な特徴の一つは、神秘的体験によって何らかの高次の知に達したという主張である。この講義は、イギリスのオカルト思想・実践家、アレクスター・クロウリー(1875-1947)の書物に残された、特に「聖守護天使の知識と会話 Knowledge and Conversation of the Holy Guardian Angel」と呼ばれた知と体験について論じる。まず、クロウリーが、自分の守護天使とつながった体験(コミュニオン)についてどのように説明しているかを示す。彼は、1900年からそのような体験を試み、1906年について達成したと述べている。次に、『サメクの書 Liber Samekh』(1920)などで、「聖守護天使の知識と会話」を達成するための方法を彼がどのように解説しているかを取り上げる。つまり、この講義の前半は、クロウリー自身の聖守護天使体験とそれに至る過程、後半は、彼のように聖守護天使体験を持ちたい人々を導くための方法が、テキストにおいてどう表現されているかを論じる。そのような分析を通して、彼の指導書のテキストが体験の直接的記述やマニュアル化の工夫などの諸側面の複合体であることを明らかにする。

- 15:45-15:50: 講演①の日本語要約

- **15:55-16:15: 講演② The Reception of Crowleyan Thought in Japan (Nagi Ishimoto, University of Tokyo)*「日本におけるクロウリー思想の受容と現在」**
- 16:15-16:20: 講演②の日本語要約
- **16:20-17:00: Q&A (英語も日本語も可)**



ヨーテボリ大学
(スウェーデン)
教授, 西洋エソテリ
シズム研究欧州研
究協会幹事